

わが校自慢

# 土岐市立土岐津小学校

## 教育夢発信

## ハイモワ土岐津っ子

土岐津小学校で  
めざすもの

### 学校の教育目標「よく学び やりぬく子」

《めざす子ども像》

求め、鍛え合う子

《全校一丸となって》

#### 階段のある学校

学年の発達段階や特色を生かした動きづくり

求め鍛え合う場

#### 授業に厳しさを求める学校

日々の45分の授業の子どもの姿で勝負

求め鍛え合う核

#### 当たり前のことを教える学校

基本的な行動様式の徹底

求め鍛え合う土台

地域でも家庭でも学校でも、明るく元気なあいさつをします



ハキハキ

目標を立てて運動し、外遊びを積極的に行います



イキイキ

黙って掃除をし、何事にも集中して取り組みます



モクモク

毎日10分読書をし、読書量を伸ばします



ワクワク

## 教科書を使って脳トレ

小・中学校で使用する教科書の見本を市立図書館・教育研究所（市役所2階）に展示しています。誰でもご覧になれます。

### 地図記号について考えてみましょう

Q 次の記号は、小学校の教科書にでてくる地図記号です。何を表しているか分かりますか？

- ① ㄥ
- ② ∨
- ③ 山
- ④ ㊦
- ⑤ 文
- ⑥ ㊦
- ⑦ ㊦
- ⑧ ⊗
- ⑨ X
- ⑩ ㊦
- ⑪ ㊦
- ⑫ ㊦

（東京書籍 新しい社会 3・4上より）

（答えは、次頁下です。）

地図に関する学習は小学校3年生から始まります。

小学校の3年生と4年生の社会科で使う教科書は、3・4年生用の上と下の2冊になっています。

10年ほど前は、地域の学習について小学校3年生で市町村、小学校4年生では県までを中心に扱ってきたので、それぞれの教科書がありました。現在は、3年生と4年生の社会科の目標と学習内容について、地域に関する学習が弾力的に行えるなどの理由で2学年にまとめられたため、3・4年生用の教科書ということになっています。

地域の学習については、まず学校の周りから学習を始

めます。探検（調査）したことを絵地図にまとめたり、出来上がった地図を高い所から見える景色と比べたりします。さらに、学校の周りから町内全体、土岐市全体へと学習の対象が広がっていきます。地図を作るときには、併せて地図記号も学習します。

<地図記号についてワンポイント>

地図記号は、地図を製作した機関・国・時期・縮尺・図式などによって異なり、統一されたものは存在しません。日本では国土地理院が地図記号を定めています。最近では、2002年に「博物館」と「図書館」が追加され、2006年に「老人ホーム」と「風力発電用風車」の記号が、小中学生を対象にした公募を経て決定され、追加されました。

㊦（博物館）

㊦（図書館）

㊦（老人ホーム）

㊦（風力発電用風車）